

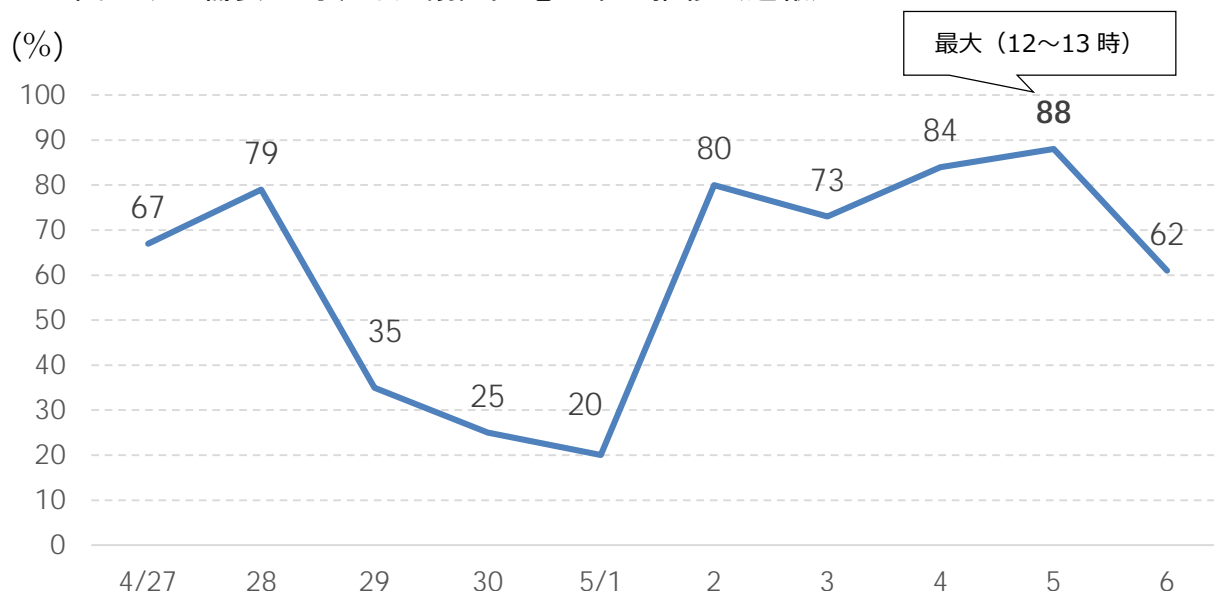
令和元年5月8日
四国電力株式会社

太陽光発電の普及拡大に伴う大型連休期間中の需給への影響について（速報）

今年の大型連休期間中、前半は前線や低気圧の影響で曇りや雨となる日がありましたが、後半は概ね晴れました。太陽光発電は、5月5日12時～13時の間における最大出力が187万kWを記録し、当該時間の電力需要に占める割合は88%となりました。

当社では、火力電源の抑制や、揚水発電所の揚水運転、また連系線の活用により、需給バランスの維持を図り、電力の安定供給を確保しました。

1. 四国エリア需要に対する太陽光発電比率の推移（速報）



2. 四国エリア需要に対する太陽光発電比率最大日の需給バランス

(エリア送電端、万kW)

		令和元年5月5日12～13時 (速報)	[参考] 前年度 平成30年5月5日12～13時
エリア需要		213	221
供給力	太陽光	(88%) 187	(80%) 177
	風力	3	2
	火力	109	174
	水力	16	24
	原子力	88	0
	揚水動力	▲59	▲59
	連系線活用	▲131	▲97

(注) () 内はエリア需要に対する割合を示す。

以上